

# EYENCE

## ポストコロナにおけるレンズケア

TOPICS 01

ポビドンヨード剤の魅力

TOPICS 02

ポビドンヨード剤の現状



June  
2022

02

Ophtecs



## コロナ禍におけるコンタクトレンズ診療 三者の立場から レンズケアの意識向上を。

くぼた眼科  
院長

クーパービジョン・ジャパン株式会社  
代表取締役社長

株式会社オフテクス  
代表取締役社長

### 久保田泰隆先生 × 井上佳子氏 × 米田穂

現在、ドラッグストアには数多くのコンタクトレンズケア用品が並んでいます。使用方法や消毒効果の違いなどにより分類され、様々な商品が市場に存在していますが、近年、「ポビドンヨード」を使用したケア用品が眼科医をはじめとする専門家から注目されていることをご存知でしょうか。

今回は、眼科医、コンタクトレンズメーカー、コンタクトレンズケアメーカーの三者の視点から、「ポストコロナにおけるコンタクトレンズ診療」についてお話しいただきました。眼科医からは、10年以上にわたり地域住民に寄り添った眼科診療にあたっておられる久保田泰隆先生、レンズメーカーからは、国内外のレンズシェア上位を誇るクーパービジョン・ジャパン株式会社 代表取締役の井上佳子社長にご登場いただき、弊社社長 米田穂と一緒にお話を伺います。

## コロナ禍で衛生意識が高まり、 ケア用品も消毒効果の高さが求められるように。

**コンタクトレンズ診療、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケアそれぞれの視点から、コロナ禍において変化したことを教えてください。**

**久保田** 私の眼科では、検診にかかる滞在時間や待ち時間を軽減するため、従来使用しているコンタクトレンズを継続処方することが多かったです。また、外出自粛や在宅ワークが増えたことでコンタクトレンズの使用頻度が少なくなつたユーザーもあり、衛生面を気にされる患者様にはご本人からの申し出により1dayレンズへ変更することもありました。

**井上** 先生のおっしゃる通り、在宅ワークやオンライン授業などによって「おうち時間」が増えるなど生活様式の変化に伴い、コンタクトレンズも外出やビデオ会議の時だけ装着するなど「使い方」に変化が見られました。

**久保田** パソコンやスマートフォン等の画面を見ている時間が増え、目の疲労を感じる人が多くなり、近くの文字が見えづらい「スマホ老眼」を訴える人も目立ちましたね。

**井上** 乱視や遠近両用のレンズへのロイヤリティ化が顕著になったと思います。例えば、酸素透過性が高いシリコーンハイドロゲル素材のレンズへの切り替えや、目の健康のために近視用、乱視用、遠近両用など自分に合ったタイプのコンタクトレンズを選択する方が増加しました。

**米田** ケア用品では、コロナ禍の影響で衛生意識が高まつたことから、消毒効果がより重要視されるようになったと感じています。弊社では、コロナ禍になり、以前に増して消毒に関する研究テーマが増えました。ポビドンヨード剤の良さはコロナ禍以前から眼科医の方には伝わっていましたが、今回やっとユーザーにも、「目の健康」を意識してもらえる情勢

が整ったと考えています。

**久保田** 患者様の中には目からのウイルス感染を心配される方がいらっしゃいます。オフテクスさんでは、いかがだったでしょうか。

**米田** 実際に、弊社にも多くのお問い合わせをいただきました。弊社では海外の著名な先生方と協働でコロナウイルスに対するポビドンヨードの消毒効果試験を行い、他のケア用品と比べて除去率が高いことを確認しています。目からウイルスが感染する可能性は低いと思いますが、衛生面を気にされる患者様がいましたら、ポビドンヨード剤を推奨していただきたいと考えています。

**井上** 私も、感染症から身を守るために、コンタクトレンズの取り扱いやケアの重要性など「目の健康」への関心が高まったと感じています。そして、コンタクトレンズを介した感染を予防するために、ポビドンヨード剤のような消毒効果の高いケア用品が選ばれています。ポビドンヨード剤と「Biofinity®」がセットになった製品「Biofinity® アドバンスドパック」の売上は、コロナ禍において120%の伸長率を誇っています。



久保田泰隆先生 KUBOTA YASUTAKA

くぼた眼科 院長

### PROFILE

1996年奈良県立医科大学を卒業後、大阪大学眼科学教室に入局。2004年にイワサキ眼科医院分院 分院長を務め、2015年くぼた眼科を開業。2016年に医療法人かがやきくぼた眼科 理事長に就任。



**久保田** 「Biofinity® アドバンスドパック」は、眼科スタッフ、眼科医ともに患者様にお勧めしやすい商品です。患者様が数あるケア用品の中から選ぶのは容易ではなく、価格などで決めてしまいがちです。特に初めてコンタクトレンズを使用する方には、スタート時点でポビドンヨード剤のケアを基準としてもらうことで高い意識を保てると思います。

**＊田** 弊社としては、誰が使っても高い消毒効果が得られる

ポビドンヨード剤や、安全性の高い商品の普及に今後も注力していきたいと考えています。

**久保田** 我々眼科医も引き続き、コンタクトレンズ消毒の重要性を根気よく伝えていく必要がありますね。クーパービジョン社、オフテクス社とともに、患者様目線の商品を供給してくださるので、今後も楽しみにしています。

## コンタクトレンズケアの重要性を 引き続き啓発していく。

ポストコロナにおいても、今までお話をいただいた変化は続くのでしょうか？

**井上** 引き続きオンラインと対面のハイブリッド型のコミュニケーションが主流になり、コンタクトレンズの「使い方」や「選び方」が元に戻ることはないと思います。新型コロナウイルス感染症が引き起こしたパンデミックは、私たちの生活様式や価値観を大きく変えました。コンタクトレンズのユーザーには、使用期間を守ってコンタクトレンズを使用すると同時に、正しい手洗い・うがいといった「予防の常識」の重要性を再認識してもらう必要があると思います。今後も、消毒効果の高い製品とレンズの組み合わせは、ユーザーの重要な選択事由になるでしょう。

**久保田** しかし、コロナ初期と現在の第6波で人々の意識が変わったように、つねに消毒に関して高い意識を持ち続けることは難しいように感じます。店先にアルコールを設置することが当たり前になったように、レンズケアに対しても、今一度、高い意識を持っていただきたいですね。当院ではケア用

品にポビドンヨード剤を推奨していますが、新型コロナウイルスが落ち着いた時期でも、こすり洗いタイプに戻されることなく、ポビドンヨード剤の人気は高いままでした。



**＊田** 私もこの傾向は、今後も国内で継続すると予想しています。新型コロナウイルスは、弊社にとってケア用品を見直していただく良い機会となりました。ユーザーの多くが洗浄剤と消毒剤の違いを理解していない、というのが現状ですので、対面だけでなく、オンラインでも継続して情報発信して



井上佳子氏 INOUE YOSHIKO

クーパービジョン・ジャパン株式会社 代表取締役社長

### PROFILE

1997年慶應義塾大学卒業後、花王株式会社に勤務。コンシューマー・マーケティング分野での経験を積み、2005年ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院修士課程(MBA)を修了。2014年にクーパービジョン・ジャパン株式会社に入社。2019年代表取締役社長に就任。

いく事で、消毒力の高い製品の必要性を理解していただけると考えています。久保田先生がお話された通り、衛生意識の向上が一過性にならないよう、メーカーとしても継続的な啓発が重要であると考えています。今後もコンタクトレンズと同様、レンズケアの説明をよろしくお願ひします。

**久保田** もちろんです。意識の変化といえば、消費者よりも眼科医の方ではないでしょうか。検査員任せになっていたケア用品について、きっちりとユーザーに伝える責任も感じていると思います。眼科医が伝えられる影響力は範囲が限定されるので、メーカーさんには簡便さや価格よりも、消毒効果や安全性をよりプロモーションしていただきたいです。また、レンズだけでなく、レンズケースの管理の重要性も再認識しました。最近は、ポビドンヨード剤はレンズケースも消毒ができることも患者様に伝えています。

**米田** 先生のおっしゃる通りレンズケースの消毒は重要で、角膜感染症患者のレンズケースからは高頻度で菌が検出されることが分かっています。弊社のポビドンヨード剤でケアをするとヨウ素がケースのふた裏まで行き渡るため、レンズケース全体の微生物を除去できることを確認しています。眼



科医だけでなく、スタッフやユーザーの方にもケアの重要性をご理解いただくためにも、学会活動と合わせて、今回の情報誌「EYENCE」を定期的に発行し、啓発に努めていきたいと思います。

**井上** レンズケースも消毒できるというのは素晴らしいですね。今後も消毒効果の高い製品、特に「クリアデュー ハイドロ:ワンステップ」と「Biofinity®」がセットになった「Biofinity® アドバンスドパック」を、レンズメーカーとしても継続して拡販していきたいと考えています。

## ユーザーの目の健康を守るために、 それぞれの立場で、できることを。

コロナ禍で消毒の重要性が再認識された一方で、レンズケアに対する意識はまだ低いという現状です。コンタクトレンズユーザーに消毒の重要性を伝えるために、今後どのような取り組みをお考えでしょうか？

**米田** 眼科等で働く前の視能訓練士学校の学生や眼科在

職中のスタッフに向けて、レンズケアの重要性をお伝えし、患者様に適切な指導ができる仕組み作りを強化しています。また、最近では地元神戸市の中学校教科書副読本でケア用品について記載し、医療機器であるコンタクトレンズを適切に使用していただくよう若い方への啓発活動を行っています。正しいレンズケアを行わなければ、どのようなリスクがあるの



**米田 穣 YONEDA JOE**

株式会社オフテクス 代表取締役社長

PROFILE

1993年北海道大学 工学部を卒業後、サントリー株式会社 医薬学術部に勤務。  
1998年に株式会社オフテクスに入社し、2006年代表取締役社長に就任。

か、ケア用品専門メーカーの責務として、今後も学会、情報誌発行の取り組みを強化していきます。

**井上** 弊社では、ユーザーに向けて、目の健康のためにレンズケアの重要性を啓発するコンテンツを引き続き展開していく予定です。具体的には、ホームページやSNSでの発信のほか、コンタクトレンズ処方の際に施設様がユーザーへ案内するためのハンドブックや院内での啓発資材の提供などを考えています。

**久保田** 医療従事者の我々が一番に考えることは、製品の品質・安全性です。コンタクトレンズは医療機器であるにもかかわらず、現在インターネットや雑貨屋等で数多く販売されています。残念ながら市場には低品質の製品が多く流通しております。ネット通販利用者のトラブルが年々増加していることを実感しています。さらに、想像つかないほどの間違った使い方をするユーザーもいらっしゃいます。そうならないためにも、眼科医に推奨されるコンタクトレンズとケア用品を選択し、正しく使用することが大切だと考えます。多くの情報がネットで入手できる時代にはなっていますが、ユーザーの方にはぜひ、定期検査を通して、コンタクトレンズに精通した眼科医にご相談いただきたいと思います。眼科医も、コンタクトレンズの取り扱いとレンズケアの重要性について検診の都度、教育を行うよう努めます。製造会社には、より安全性の高

い商品開発を、販売店にはユーザーへの情報提供を引き続き行っていただきたいと思います。

**＊田** 弊社はケア用品の専門メーカーである事から、必ずしもコンタクトレンズとセットで処方されないという現状があります。これを一部打開できたのが、クーパービジョン社との協働企画「Biofinity® アドバンスドパック」です。先ほど井上社長からも、コロナ禍において「Biofinity® アドバンスドパック」が120%の伸長とお聞きしました。弊社としてもこの伸長を加速させるべく、その他の商品でもコンタクトレンズとのセット販売を実現したいと考えています。

**井上** 弊社も日本ではケア用品を販売していないコンタクトレンズ専門メーカーであることから、正しいコンタクトレンズの取り扱いについて、より注力し、適切なケアについてはオーフテクスさんと協力しながらやっていきたいと考えています。高性能なケア用品と相性の良いレンズのタイアップは会社の利益追求だけでなく、コンタクトレンズメーカーの責務として重要なことです。今後も継続して行い、コンタクトレンズユーザーの目の健康を守っていきたいと思っています。

**久保田** 我々眼科医も患者様に適切な指導を行うことで、皆さまのコンタクトレンズライフがより快適なものになれば幸いです。



[医薬部外品] 販売名:クリアデュー ワンステップb  
販売名:バイオフィニティ 承認番号:22200BZX00714A01